



2022年11月24日

2022年9月期仮決算について

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）の2022年9月期仮決算につきまして、別紙の通りお知らせいたします。

以上

2022年9月期(仮決算)の状況

京都中央信用金庫

1. 当期の業績について

預金（譲渡性預金含む）については、流動性預金・定期性預金共に順調な伸びを示した結果、前年同期比2,206億円増加の5兆3,165億円となりました。

貸出金については、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に努めた結果、前年同期比918億円増加の3兆1,689億円となりました。

2. 利益の状況について

本業の利益を示すコア業務純益は、貸出金利息収入や有価証券利息配当金の増加等により資金利益が前年同期比18億円増加したこと等から、前年同期比16億円増加し、105億円となりました。

経常利益は前年同期比横ばいの94億円となり、当期純利益は前年同期比14億円増加し、85億円となりました。

3. 単体自己資本比率について

内部留保額を順調に積み上げた一方で、リスク・アセット等が増加したことにより、前年同期比0.20ポイント低下の10.89%となりました。金融機関の健全性を示す基準となる水準（国内基準4%）を大きく上回っております。

4. 不良債権について

金融再生法による不良債権比率は前年同期比0.15ポイント低下の2.07%となりました。

5. 主要計数

	2022年9月期	2021年9月期	増減	増減率
預金残高	5兆3,165億円	5兆958億円	2,206億円	4.33%
貸出金残高	3兆1,689億円	3兆771億円	918億円	2.98%
内部留保額	2,709億円	2,580億円	129億円	5.02%
自己資本比率	10.89%	11.09%	△0.20%	—
不良債権比率	2.07%	2.22%	△0.15%	—
店舗数	132店舗	132店舗	—	—

※ 預金には譲渡性預金を含みます。

	2022年9月期	2021年9月期	増減	増減率
資金利益	268億円	249億円	18億円	7.53%
コア業務純益 (投資信託解約益除く)	96億円	87億円	9億円	11.08%
コア業務純益	105億円	89億円	16億円	18.58%
実質業務純益	79億円	90億円	△11億円	△13.00%
業務純益	79億円	88億円	△9億円	△11.04%
経常利益	94億円	94億円	0億円	0.30%
当期純利益	85億円	71億円	14億円	19.88%

以上